

提案名	鉛蓄電池寿命診断装置		新製品
企業名	株式会社 四国総合研究所		〒761-0192 香川県高松市屋島西町 2109 番地 8 URL : http://www.sskn.co.jp/
連絡先	部署名 : 企画部 業務課 担当名 : 黒田 賢一		TEL : 050-8802-4630 E-mail : k-kuroda@sskn.co.jp
会社概要	設立 : 昭和 62 年 10 月 代表者 : 澤田 佳孝 資本金 : 100,000 千円 従業員 : 130 名 事業内容 : 電気事業に関する調査、研究、開発など		
提案内容	<p>◆適用可能分野 鉛蓄電池の設備診断</p> <p>◆開発レベル <input type="checkbox"/> アイデア段階 <input type="checkbox"/> 試作/実験段階 <input type="checkbox"/> 開発完了段階 <input checked="" type="checkbox"/> 製品化段階</p> <p>◆特許有無 (有 、 無) (診断に必須となるソフトウェアを当社独自開発)</p> <p>◆概要 <特徴> 鉛蓄電池の内部抵抗の経時変化を精密に測定し、その変化状況と標準寿命特性を比較することにより、余寿命を推定する。</p> <p><診断方法> ・測定は周波数を変化しながら数アンペアの電流を鉛蓄電池に印加し、インピーダンスを測定し、これを基にナイキスト平面を描き、抵抗成分を算定する。 (蓄電池の抵抗は数ミリΩと非常に低いため、高精度の計測装置が必要となる) ・加速試験で得られた標準的な蓄電池の内部抵抗の経時特性と比較し、寿命レベルに到達する時期(余寿命)を推定する。</p> <p>◆技術新規性 ・蓄電池の余寿命を推定するための測定装置で信頼に足るものは、未開発である。 (健全かあるいは故障かの判断はできるが、劣化の進展具合を評価できるシステムは現状では存在しない。)</p> <p>◆コスト優位性 ・測定・診断にはコストがかかるが、診断により設備をより長く、有効に使用することができるため、総合的にコストを低減できる可能性がある。 ・設備の状態を詳細に把握することができるため、故障の早期発見ができる。</p>		
	 <p>鉛蓄電池寿命診断装置</p>		
希望提携内容	鉛蓄電池を使用している業界では、メーカーの推奨時期に取替している。環境条件が良い場合には、延伸が可能となる。これに関心のある会社を希望する。		
キーワード	鉛蓄電池 余寿命診断		